

私たちが光と想うすべて (2024)

ALL WE IMAGINE AS LIGHT

メディア 映画**ジャンル** ドラマ**製作国** フランス／インド／オランダ／ルクセンブルク**色彩** Color**時間** 118分**初公開日** 2025/07/25**公開情報** セテラ・インターナショナル**映倫** PG12**【キャッチコピー】**

運命から、解き放たれる

【解説】

これが長編劇映画デビューにして、インド映画として初となるカンヌ国際映画祭グランプリ受賞の快挙を果たしたインドの新鋭パヤル・カパーリヤー監督による女性ドラマ。ままならない人生に揺れる女性たちが織りなす友情模様を、現代のインドに生きる女性たちの等身大の葛藤とともに、優しい眼差しで纖細かつ詩的に描きしていく。主演はカニ・クスルティとディヴィヤ・プラバ。共演にディヴィヤ・プラバ。

インドのムンバイで看護師をしながらルームシェアをしている真面目なプラバと社交的なアヌ。対照的な2人はルームメイトながら、それほど親しい関係ではなかった。プラバは親が決めた相手と結婚したが、夫はドイツで働いていて長いこと音信不通だった。一方アヌは、お見合い結婚をさせようとする親には内緒でイスラム教徒の男性と付き合っていた。そんなある日、病院の食堂で働くパルヴァティが高層ビル建設のために立ち退きを余儀なくされ、故郷の村に帰ることに。プラバとアヌは、そんなパルヴァティの帰郷を手伝うため、彼女の村まで一緒に旅をするのだったが…。

【クレジット】

監督	パヤル・カパーリヤー	Payal Kapadia
製作	ジュリアン・グラフ	Julien Graff
	トーマス・ハキム	Thomas Hakim
脚本	パヤル・カパーリヤー	Payal Kapadia
撮影	ラナビル・ダス	Ranabir Das
音楽	ドゥリティマン・ダス	Dhritiman Das
出演	カニ・クスルティ	Kani Kusruti プラバ
	ディヴィヤ・プラバ	Divya Prabha アヌ
	チャヤ・カダム	Chhaya Kadam パルヴァティ
	リドウ・ハールーン	Hridhu Haroon シアーズ
	アジーズ・ネドゥマンガード	Azees Nedumangad マノージ先生